

整列!



由良町 

こんにちは!

議会です

発行/由良町議会 発行責任者/玉置 一郎

編集/議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1

TEL:0738-65-1100 FAX:0738-65-0226

E-mail:gikai@town.yura.lg.jp

明けましておめでとうございます

令和六年を迎えて



議長 玉置 一郎

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。日頃より議会運営、議会活動に対し、あたたかいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

まず、このたびの能登半島地震において、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。また、昨年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5類に引き下げられ、少しづつではありますが、以前の日常生活に戻りつつあるものの、依然として私たちの暮らしや社会全体に大きな影響を与え続け

ています。本年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。甲辰は「草木が成長し整っていき、草から発展して形を成す」といいます。辰年は、昇り龍などに描かれるように、勢いよく活気があふれる年になるとも言われ、時代が動く大きな出来事が起こると予想されます。また、夢が叶う良い年となることを願ってまいります。

由良町においても昨年、町民の皆様のご協力のおかげで、町政の更なる発展の取り組み、町議会のいたしまして、町民の皆様の声を聞きながら、議員一同全力で取り組んでまいります。この一年が皆様にとって、この一年が幸多き年となり、ご挨拶と申し上げ、新年のごあいさつといたします。



副議長 三上 幸夫

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、令和6年の新春を健やかに迎えられましたこと、お慶び申し上げます。また、日頃より私たちが町議会に対し、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

町議会の声に耳を傾け、町民の抱えている様々な課題の解決に向けて、議員一人ひとりが住民福祉の向上に寄与できるように全力を尽くしてまいります。本年も引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。



由良町 議員一同



三好 章五 議員



岩崎 清和 議員



山口 太志 議員



川出 純 議員



森 三枝子 議員



野田 悟 議員



山本 大 議員

令和5年12月定例会

[会期] 12月7日~14日

令和5年12月定例会は、12月7日から14日までの8日間の日程で開催されました。町道の路線認定1件、条例一部改正5件、条例新規制定1件、規約の変更1件、人事1件、補正予算6件の計15件の議案が提出され、すべて原案のとおり可決、同意しました。一般質問は、7名の議員が登壇しました。

由良町会計年度任用職員の報酬に関する条例について

可決

【概要】フルタイム、パートタイム会計年度任用職員の報酬は、常勤職員の給料表1級の準用、勤勉手当を新たに支給し、期末勤勉手当（ボーナス）の支給率を正規職員と同様とする。

問 会計年度任用職員が多いように思うが、現在、正規職員は何名か。また、会計年度任用職員は何名か。

答 【総務政策課長】正規職員は、再任用職員を含め72名。なお、適正化職員数は75名。会計年度任用職員は44名。うち、教育課は25名。



問 一年以上勤務されている方もいるが。

答 【総務政策課長】会計年度任用職員は、年度末の3月31日までで、区切りとなっています。

令和5年度 一般会計補正予算（第6号）

可決

補正総額 2,060万円 増額

増額補正の
主なもの

〈歳入〉	普通交付税	904.1万円
	国庫支出金	728.2万円
	町債	390万円

〈歳出〉	旧中央保育所跡地公園整備基本実施設計業務	396万円
	紀伊由良駅前再整備事業	88.5万円
	介護保険特別会計繰出金	259.5万円
	観光振興事業補助金	▲300万円
	県営工事負担金（災害緊急がけ崩れ対策事業）	260万円
	人件費	574.7万円

旧中央保育所跡地利用について

問 旧中央保育所跡地公園整備基本実施設計業務の基本的なことは、町が決めることで、町民の意見を聞いてどのように決めたのか。

答 【総務政策課長】住民からのアンケート等の回答をいただき、基本設計をつくりたいと思います。

問 公園整備基本設計業務に予算 396 万円を計上しているが、町債 390 万円をわざわざ借りなくてもよいのでは。

答 【町長】今回は、公園を造る設計をするための予算計上です。



問 旧中央保育所解体撤去工事費 4,500 万円から今回の落札額約 2,329 万円を引いて残った予算は何に使うのか。

答 【総務政策課長】この予算については事業完了後、3月定例会で減額する予定です。

問 今後、公園を造るにあたり、浸水、災害の関係のない公園を、長期の視点で大きなビジョンで考え、場所を決めてほしい。

答 【町長】保育所跡地に公園を造るのは不適切と聞こえるが、災害に対応した対策を考えれば、できると思います。いろいろと考えていきます。

観光振興補助金 300 万円減額

問 イベントごとに 300 万円を計上しているのであれば、1 月末の「すいせんまつり」など、観光客が減る 1 月、2 月に民間が行うイベントへ参加するとか、今議会で減額せずとも 3 月定例会で減額するのも一つの方法では。

答 【参事・産業振興課長】当然、そのような考え方もあろうかと思いますが。今のところ、そういう計画も出てきませんでした。

この予算は、団体に対する補助金を目的とした負担金です。

今回、減額した予算を他の予算へ回したほうが良いのではないかと考え、減額しました。

【町長】課長が答弁したとおり、今回減額した 300 万円を、他のイベントへ使いたいという要望もありませんでしたので、減額しました。

他の団体から要望があれば、使っていければと思います。

しかし、「すいせんまつり」とか言われましたが、そこは少し違いますので予算は使えません。

県営工事負担金（災害緊急がけ崩れ対策事業）

問

土木費の県営工事負担金の内容は。

答

【地域整備課長補佐】6月2日の大雨で、里の旧中央保育所付近の住宅へ土砂が流れ込む災害が発生しました。県が実施するがけ崩れの対策事業費の10%を町が負担する必要があるため補正予算を計上しています。



県営工事予定地（由良町里地内）

令和5年度 一般会計補正予算（第7号）

可決

物価高騰対応重点支援給付金など補正総額 6,890万円 一般会計総額49億1,040万円に

物価高騰対応重点支援給付金

電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得者世帯に対し、生活・暮らしの支援を目的に1世帯当たり7万円を給付します。

人事

当選

適任

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員任期満了に伴い

ながお ひでひろ
長尾 英弘氏（阿戸1002番地の26）を

新たに推薦することに適任と決定しました。
（任期は、令和6年7月1日から3年間です。）

由良町選挙管理委員会委員及び
同補充員の選挙が行われ、委員4名、
補充員4名の方が当選されました。

委員

湯川 直宣氏（衣奈1154番地の9）

岡 紀行氏（門前218番地）

小谷 かおり氏（里231番地）

中野 敬三氏（神谷72番地）

補充員（順位順）

岸上 昭一氏（三尾川364番地）

坂田 妹子氏（衣奈862番地の2）

中川 博氏（吹井252番地の37）

菅野 幸江氏（阿戸217番地）

（任期は、令和6年1月8日から4年間です。）



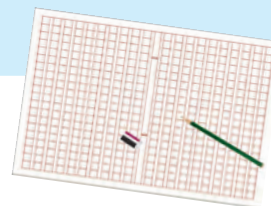
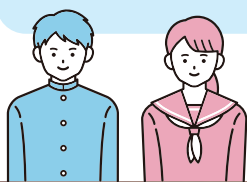
議会を傍聴して



由良中学校3年生29名が、12月定例会の一般質問を傍聴しました。
 地方公共団体の政治の仕組みについて学び、地域社会への関心を高めてもらうため毎年行われています。
 由良町の将来を担う生徒の皆さんからいただいた様々な意見や提案を、議会での質問に生かし、町がよくなるように努めます。

感想文の選定の目安

- 1. 議会の仕組みについて
- 2. 由良町の産業、水産業について
- 3. 道路問題について
- 4. 防災について



議会を見てみて

私は議会を見てびっくりすることが、たくさんありました。
 まず、部屋が本格的になっていて、議員さん達が質問や提案をして進められているのが凄く由良町が、より良くなるために話し合ってくれているんだなど、ありがたく思いました。
 その中で、私も由良町がより良くなるためには、どうしたらいいのかを考えてみました。すると、由良町は海が近く、地震が起きて津波が来ると、とても危なくなると思うので、避難所になる高台を造るといいのではないかと思います。
 すると、どこに避難したらいいのかも分かりやすくなると思うし、津波から町民を守ることもできると思うからです。
 このように、私は議会を見てみて議員さんたちに、これからも由良町をより良くして欲しいと思いましたし、守って欲しいと思っています。

由良町議会を見て

僕が、由良町議会を実際に見て、由良町では水産業が盛んなのに、その水産業が危ない状況になっているというのを話し合っているのを見て、漁師の方々が困っていると言っているのを見て、地球温暖化が進んでいることに對して、僕も何か助けになるようなことを行っている、僕も何か助けたし、由良町に住んでいる人たちのことを思って、日々、いろいろなことが議会で話し合われているんだなと知りました。

他にも、水産業のために千葉県まで行って、新しい技術なども取り組んでいこうとしていっているんだなと感じました。

このような様々なことを話されている議会を見る機会を与えていただいた、とてもありがたいなと思いました。

今後、僕も政治にも目を向けて、生きていかなければならないなど、改めて感じました。

とても、貴重な時間を設けていただき、ありがとうございました。

議会を見て

議会を初めて見て、たかさんのことが分かりました。

議会のしかたや進め方を見て、こんな感じにするんだなと思いました。

一番目立ったところは、議長です。

僕は初め、話を進めるのは町長かなと思いました。

でも、町会議員がするんだなと思いました。けっこう、町長や町会議員だけじゃなくて他の人もたくさんいてビックリしました。

いろいろな意見が出ていて、それに対して、すぐに答えていてすごいなと思いました。

あんなにすぐ答えを返すなんて、できないなと思いました。

進め方が、とても上手だななと思いました。

僕は、由良駅の前に由良町の食べ物屋さんやコンビニなどを置いてほしいです。

あと、由良駅や由良駅前が暗いので、光る「ゆらの助」やきれいなイルミネーションなどをつけると由良町が明るくなると思います。

令和5年度「議会傍聴感想文」

由良中学校第3学年

由良町の議会を聞いて

私は、議会を初めて見て聞きました。議会のようすを見てみて、私たち町民のためいろいろ話をして決めてくれているのだなと思いました。

由良町から広川町に行く水越峠の道路の整備は、私も実際に通っている道路なので整備して欲しいなと思いました。

防災訓練も年1回ではなく、2回、3回やるのもいいと思いました。

そして、私は提案したいことが1つあります。

それは、コロナ前まで毎年1回開催していたふるさと祭りを復活させて欲しいことです。復活させたら、町内も町外の人達が集まり由良町の特産品も買ってもらえるから、由良町がにぎわうこと間違いなしだと思います。

私たちも、毎年、楽しみにしていました。いつも、その時期になると友達と「また、今年もなかったなあ」と話しています。

子供達も復活させてくれることを楽しみにしていると思うので、ぜひ議会で話し合ってもらい復活させて欲しいと願っています。

新年挨拶

議案審議

議会についての感想と提案

私は議会を見るのも、あの場所に行くのも初めてで、とても新鮮だった。議長がいて、一人ひとり手を挙げて発言するということが知った。会話の内容が難しかったが、自分なりに考えて理解できた。あの場所で話し合われたことが、由良をよりよくしているんだと思います、とても興味深かった。議会のなかで、若者を中心とした町づくりというような内容があったが、そのためにも若者の意見をもつと聞くべきだと思った。小学生、中学生、高校生などの学生にアンケートを取ったり、学生も議会の場で提案、質問などができる機会

があれば、より活気のある町になれると考える。また、私は、白崎海洋公園などの由良の良いところをもっとアピールし、観光客を呼ぶことも必要だと考える。そのためにも、道路の整備、道路の草刈りなどに力を入れるべきだと思う。美しさと活気が長所な町にして欲しいし、私も住民の一人として参加したい。今回、議会を見学させていただき、この町について考える良い機会となった。自分が住んでいる町だからこそ、もっと深く由良について知り、より良くしたいと思った。

議会傍聴

一般質問

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は、7名の議員が登壇し、町当局の考えについて質問しました。以下、その内容を要約してお知らせします。

1 防災設備の拡充と備えを

議員

昨年、6月2日の豪雨時、町からの道路情報や災害情報が少なかったと聞きました。

今後の対策として、浸水が想定される主要道路、氾濫が想定される由良川水系にライブカメラの設置が必要では。

町長

ライブカメラについては、現在、町内7か所に設置しています。

そのうち、白崎海岸と由良湾の映像については、町のホームページでご覧いただけます。

今後、由良川と前田川の映像の追加を検討します。

また、ライブカメラの増設についても、今後、その必要性を検討します。



野田 悟
議員

議員

由良町の電気は、江ノ駒の変電所より各所に配電されています。

津波被災時、変電所が被災した場合、長期の停電も想定されることから、避難所、災害対策本部等には常設の非常電源設備が必要では。

または、仮設非常電源設備の場合でも、仮設を想定した訓練が必要では。

町長

災害対策本部になることも園の電源については、太陽光発電で10kw蓄電池で15kwのものを設置しています。

必要な電源は、確保できており、ノートパソコンやプリンター、照明などを使用して電気が復旧するまでの間の被害情報の把握や町からの情報発信などは行えます。

これらの電源設備に加え、自家発電機の運用も必要になると考えられます。

2 地域ふれあい補助金の新設を

議員

コロナ禍も収束しつつある中、今年も「ゆらふれあい祭り」が開催されませんでした。

今後開催が難しいのであるならば、老若男女が楽しめるイベントを企画する自治会も含め、各種団体に補助金を出せる事業を新設しては。

町長

町内では、すでに各種スポーツ大会や文化展、音楽会、芸能発表会などの文系イベントなどが開催されており、行政としても一部支援しています。

しかしながら、資金的な理由により、どうしても開催を断念せざるを得ない、そういった地区や団体等があるようであれば、まずは、区長会等を通じて、ご意見を伺っていききたいと思います。



ライブカメラの映像

※その他の質問
・楽しめる敬老会開催を



山口 太志 議員

水産業について

議員

漁業を営んでいる方々の漁獲量が激減しているのが、近年の水産業の現状です。このような環境の変化で、漁獲量が減少し収入も下がっている現況において、行政としても支援策を打ち出してほしいと考えます。

町長の考えを聞かせてください。

また、今後の由良町の水産業に対する思いを聞かせてください。

町長

町として、水産業に対しての支援策については、水産団体等が実施する事業に要する経費に対して、「ヒラメの中間育成やクエの放流等のソフト事業」や「施設等の環境整備を行うハード事業」に対して、水産業振興事業補助金を交付しています。

議員

水産庁において、漁港やその周辺の漁業地域の課題の解決に取り組むべく、新たなビジネスの導入や業務の改善、人材育成等に対しての補助金等の様々なメニューが用意されていますので、町としても、これからの将来については、共通の認識を持ちながら、漁業関係者の意向を確認し、町水産業の発展に尽くしていきます。

他の自治体では、水産庁の海業支援（うみぎょうしえん）の補助金を活用し、漁港施設を整備し、地元の水産の強化を図っています。

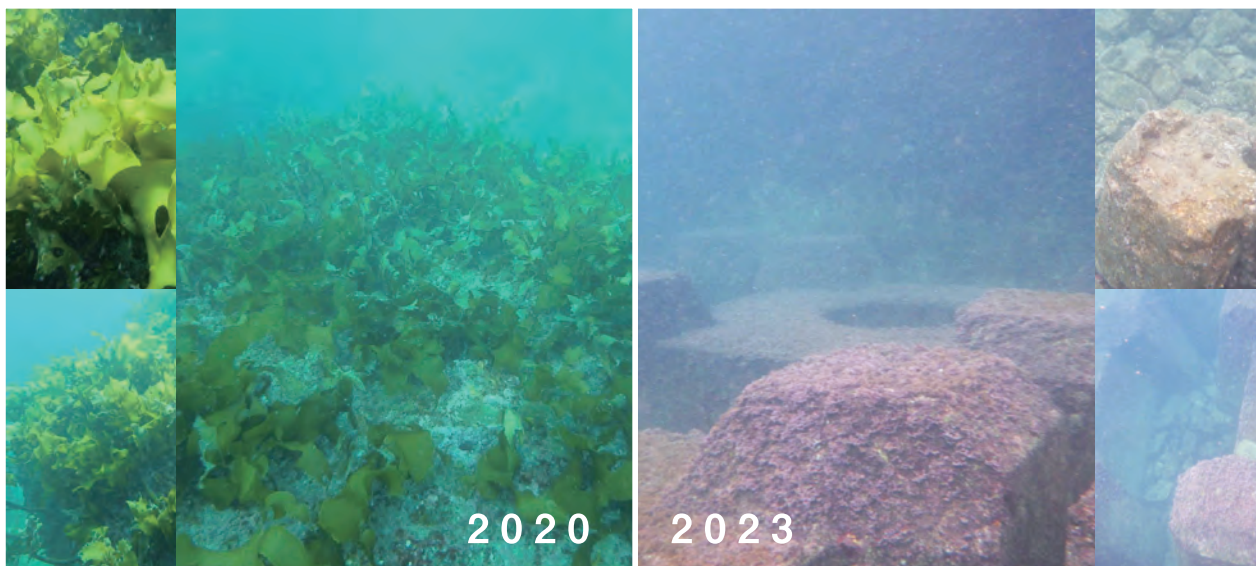
例えば、今ある漁港を活用し、養殖施設を整備するなどして、「獲る漁業から、つくり育てる漁業」を進めていくのもひとつの方法だと思えます。

漁業者が、将来の生活に安定して、魅力ある職業にするためには、継続的かつ効果的な施策をお願いしたい。

町長

私も、「獲る漁業」から「つくり、育てる漁業」を進めていくのも一つの方法だと考えています。

今後、漁業者の方々から、どういう方向で進んでいくのか、またどういうことをしてもらいたいのか、という話をじっくりと聞きながら、解決に向けて、県、町、漁業者とともに、頑張っ取り組んでいきたいと思えます。



由良の磯焼け問題

※その他の質問
・防災対策について
・道路整備について

山名町長の次期町長選挙への 出馬について

議員

山名町長は、就任後、住民の皆様との対話を重視し、また住民目線で、住民の奉仕者として行政を担うといった基本姿勢を示され、「希望ある町に」をスローガンに「実りのある3つのまちづくり」を進めていくことを表明されました。

私自身は、山名町政を応援する意味も込めて、議場で苦言を呈する質問をさせてもらうこともありました。が、住民の皆様への暮らしを支える事業を中心に実施されてきました。

そして、住民の悲願である国道42号畑一広川町井関間道路改良の早期事業化の国等への積極的な要望活動を積み重ね、努力された結果、新たな段階に入っ



三上 幸夫
議員

てきたと思います。

今後は、実りのある3つのまちづくりの実現に向けて、一層努力されると思いますが、まだまだ多くの課題も山積しており、道半ばです。

これらの課題の早期解決に向けて、引き続き町政を担っていただきたい。

2期目への出馬について、山名町長の決意は。

町長

早いもので3年7か月が経過いたしました。この間、住民の皆様にご理解、ご協力をいただきまして厚くお礼を申し上げます。

就任以来「希望のある町に」をスローガンに「若者が集うまちづくり」「子育て世代にやさしいまちづくり」「高齢者にやさしいまちづくり」の3つのまちづくりビジョンを柱に、誠実をモットーに、役場職員と力を合わせて町行政に一生懸命に取り組んでまいりました。

地区懇談会において、住民の皆さんからの生の声を聞き取り、そこでの様々なご意見、要望等に対しても、できるだけ迅速に施策に反映してまいります。

財政の健全化を図りながら、私のス

ローガンでもあります「希望のある町に」の実現を目指して、国道の早期事業化に向けての一層の要望、インフラ整備、紀伊由良駅と周辺のまちづくり、公園整備、安全確保のために小学校の移転の検討、地域防災力の向上、そして私たちの生活の基本であります農業、漁業、商工業の活性化など、まだまだやらなければならないこと、やりたいことへの思いが日ごと強くなってきています。

次期においても町長職を担わせていただきたたく、本議場において次期町長選挙に出馬することを表明させていただきます。



ただこし
只越配水池竣工式



森 三枝子
議員

1 バス・タクシー運賃助成事業の拡充について

議員

山名町長になり、タクシー運賃助成がバスでも利用できる100円券150枚に、さらにバス運賃も半額となり、非常に使いやすくなったと聞きます。

老人の健康アップにつながる外出の機会を増やすためにも、対象年齢を引き下げたり、不足する人に対して追加分を一部補助するなど、事業の拡充を。

町長

現在、80歳以上の高齢者、75歳以上の運転免許の自主返納者等に対して、1万5,000円のバス・タクシー運賃の助成をしています。

今後、75歳への年齢の引下げについては、前向きに検討します。

また、2冊目以降の販売についても、住民の意向調査を実施します。



2 ゆらっと紀州並びに周辺の現状と今後の進め方について

議員

ゆらっと紀州は、国道沿いという立地でもあり、県内外から来店者も多くなり、今までにはない由良町への人の流れができ、交流人口も産品販売所の売上げも数倍に上がり、営業をしている土日・祭日は、いつも駐車場が満車状態で、事故にならないかと思っています。

薬草園があった場所は、今現在、雑草が生い茂る空き地となり、空き地におくのはもったいないとは思いませんか。町としては、このままずっと放置したままにしておくのでしょうか。

よりよいまちづくりへ行政としての投資をして環境整備を進め、由良町の活性化のために、ステッパからジャンプにしていけばいいかと思うが、何か対策は。

町長

ゆらっと紀州の駐車場が満車状態にあることは、多くの方にご利用いただいているという喜ばしいことである一方、事故やクレームの原因となりかねず、何かしらの対策が必要ではないかと感じています。

薬草園の跡地利用として、駐車場としての整備も検討しましたが、施設そのものの受入れ容量がそれほど大きくありません。

国道に面しており、津波の浸水区域外であるなど、好条件の立地で災害時の防災拠点としての役割も期待される場所です。

引き続き、施設を使用するNPO法人や周辺自治会とも協議を重ね、連携を図りながら、よりよい施設の管理、運営に努め、一体的な環境整備を検討していきます。



ゆらっと紀州（由良町中地内）

1 防災対策について

議員

私は、初めて、行政視察研修に参加しました。

高知県黒潮町の防災について、感じたことを質問します。

黒潮町は、町全体で防災に取り組み「いざ津波というときは、自分の命は自分で守る。」年に数回の避難訓練では、小学生、中学生や高齢者も一緒に避難訓練を行い、子どもの頃からの防災教育の重要性というものを感じました。

由良町の防災教育の現状について、答弁を。

やはり、日頃の訓練が大切です。こういった「自助・共助」の意識を向上させるためには、何が必要であると思いますか。

公助をする立場の行政側として、町長の考えは。



岩崎 清和
議員

教育長

和歌山県教育委員会が作成した「防災教育指導の手引き」に基づき、地震・津波の防災学習だけでなく、様々な災害から命を守るための防災教育が実施されています。

その内容については、大きく分けて3つの柱があり、①地震・津波等自然災害を知る。②対処行動を知る。③先人の経験に学ぶことです。

町長

自助・共助の意識を向上させるためには、継続した訓練の実施が必要であると考えており、先日、由良町自主防災会協議会の皆様と共に、岡山県総社市への視察研修を通じましても、訓練の大切さを感じました。

また、日頃から、家庭や地域などで話し合っていたりすることも大切なことだと思います。



2 高齢者福祉について

議員

近年、高齢者の独り暮らしが年々増え、町から、バス・タクシー券を交付してもらっても、「由良のタクシーの台数が不足している」と聞いております。

お年寄りの方が、元気に安心して買い物や通院をしていただけるよう、何か良い手だてを考えてもらえないか。

長かったコロナ禍から、ようやく抜け出し、通常の生活が戻りつつあります。町主催の敬老会やゲートボール大会など、高齢者の方が楽しめる行事など、何かできないのか。

町長

タクシーの台数を増やしてもらうことは難しいと思いますが、住民ボランティアが高齢者の外出支援をしている事例もございますので、今後、研究していきます。

ゲートボール大会については、競技人口も少なくなり、現在は、老人クラブ主催のペタンク大会を年2回開催しています。



川出 純 議員

1 国道42号水越付近の改良の進捗状況は

議員

今年、台風2号の影響で町民の皆さんも災害に対する危機感も高まっています。

水越付近の改良の進捗状況は。

町長

令和元年から継続して調査、検討を進めていただき、令和4年度は、国道付近で2か所のボーリング調査や地表踏査を実施し、地層の把握、局所的な断層の破碎帯などの確認をしていただいています。

令和5年度は、より詳しい調査が実施され、地中内部の地下水の状況などを確認することです。

今後は、追加してボーリング調査を実施し、調査結果を基に地質の専門家の意見を聞きながら概略ルート、構造の検討を進めていくとお聞きしています。



国道42号由良町畑広川町井関間改良促進協議会

2 県道の改修を

議員

県道24号衣奈海岸のトンネル付近の釣り防止柵が錆びて、今にも落下する危険性があります。

早急に県へ連絡して改修されたい。

町長

転落防止柵が、塩害により腐食が進み、危険であることは町も把握しており、県に要望を行っています。

3 由良川の河川整備計画を

議員

6月の豪雨で由良川では、32か所も崩れました。日高郡内では、日高川、切目川、

南部川の整備計画がされています。由良川も策定されるよう県に要望を。
昨年、Aコープ付近と五明団地付近の川を浚渫していただきましたが、今年の台風2号の豪雨で、土砂が溜まっているので、再度、浚渫を県に要望してもらいたい。

町長

6月の豪雨を受け、県は今後の対策として、被害の実態調査や河川整備計画の点検を実施するために、河川調査費を確保し、由良川も対象になっていると聞きます。

4 紀伊由良駅内の危険箇所の調査と改善を

議員

駅構内、和歌山方面のプラットホームでの電車乗降時、段差や隙間が大きく危険です。また、駅前わたちのバス駐車場には、大きな轍わたちができ歩行者の方々には危険なので改修してもらいたい。

町長

紀伊由良駅のプラットホームの段差や隙間については、担当課においても現地確認をしており、紀勢本線活性化推進協議会を通じて、JR西日本和歌山支社に対応を要望しています。

また、駅前のバス駐車場の轍わたちについても、所有者がJR西日本ですので、状況を伝えています。

紀伊由良駅前の再整備について

議員

私は、これまでの質問と答弁の議事録を読み直しますと、紀伊由良駅の無人駅舎の活用並びに周辺の土地の取得等については、「厳しい財政事情の中、駅舎の改修や用地の確保は費用対効果の観点から厳しいと考えている。」との答弁でしたが、突然、紀伊由良駅前にコミュニティ施設を建設し進めていくとの発表があり、嬉しい意味でのビックリ感がありました。

熟慮の末での決定であるとは思いますが、議員としての立場で両手を挙げて賛成とはいかないので、確認の意味もあり質問をさせていただきます。

紀伊由良駅にこのコミュニティ施設を造る理由と目的は、何でしょうか。また、財源については、何かの補助金がある事業計画なのでしょうか。そして、費用対



三好 章五
議員

効果については、どのような考え方で決められたのか。

町長

どういった施設が適当であるかは、これから検討していきます。

駅としての利便性を向上させるためには、駅舎も古く劣化が著しいので、代替施設は必要で、また、新たな賑わいを創出するためには、人が集える場所としての施設整備も必要です。

駅前再整備は、駅周辺の活性化に限らず、津波等の大災害からの復旧、復旧を考えても、津波の浸水区域外であることや国道にも隣接し多様な機能や役割を担う可能性も高く、経済的、社会的効果は大きいと考えています。

財源の確保については、あらゆる施策、活用できる事業は最大限活用し、町の負担は軽減したい。

これから、再整備計画に取り組んでいく段階であり、概算費用は算出できませんが、財政規律を保ちつつ、町活性化の起爆剤となるよう思い切った取組を強く進め、投資するだけの住民の皆様の満足が得られるように進めていきたい。

議員

駅前にシンボリックなコミュニティ施設を建設し、活性化を図っていかれるのも大変

重要だとは思いますが、完成するには何年間か先になると思います。

その前に喫緊の課題でもあり、町も朝夕の送迎時の雨の日の混雑ぶりは承知しているとの答弁でもあるので、町民の皆様方も渋滞の緩和、混雑ぶりの解決、利便性の向上が最優先課題だと思っております。

町長

歩道の拡幅工事に伴い、駅への複合レーンの整備も予定されていますので渋滞の緩和になります。

また、今後設立する協議会などでも協議していつてもらいますが、送迎時の混雑ぶりは承知していますので、施設整備より先行する形で、交通事業者や地権者の理解を得ながら、渋滞や混雑の解消を図っていきたいと考えています。



駅前ワークショップ



白崎マルシェ

今回は、11月18日(土)に大引漁港で開催された白崎マルシェ取材しました。

マルシェとはフランス語で市場という意味であり、由良町の産品(みかん、野菜、新鮮な魚などを販売するSDGS型のイベントです。

由良町の魅力を発信し、観光の新たな起爆剤となればと、「紀州の環」の皆さんと大引地区の漁師さんが奮闘していました。

当日、町内外から「また、来年も開催してね」と応援エールをいただいたそうです。

運営スタッフ一同より

「由良町を賑やかさと笑顔あふれる町にするために、このイベントを3回、4回と続けていけるように頑張ります。」



司会は、マエオカ テツヤ さん

議会広報編集委員会

- 委員長 三上 幸夫
- 副委員長 岩崎 清和
- 山口 太志
- 山本 大
- 川出 純



議会人になり、早くも一年が来ようとしています。いろいろなことがあります。慣れるにも時間がかかります。議会だよりの編集に関わって4作目です。広報編集委員会のメンバーは、一人でも多くの町民の方に目を通していただけるように奮闘しています。

今年も「こんにちは議会です」をよろしくお願います。令和6年、由良町に新しい風が吹きますように・・・

(大)

編集後記

